

PAT-NO: JP404020216A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04020216 A

TITLE: FLOWERPOT FOR HANGING

PUBN-DATE: January 23, 1992

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KAWASAKI, SUMIKO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KAWASAKI SUMIKO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP02124540

APPL-DATE: May 15, 1990

INT-CL (IPC): A01G009/02

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain the title flowerpot capable of readily handling,
e.g.
when carried by hands and simultaneously having hanging string free
from
hindrance of admiration by providing a hanging part on the central axis
of a

flowerpot and fixing the string so as to be able to hang the string.

CONSTITUTION: The aimed flowerpot 1 for hanging obtained by outward folding circumference of upper opening 2a of a flowerpot 2 in which water receiver 3 is provided outward to form a decorating part 2b, extruding the central part of the bottom 2c of flowerpot 2 upward, forming recessed part 2d in which the lower part is opened at a position upper than the upper opening 2a and providing a hanging part 2e on the central axis, forming a drain hole 4 of recessed part 2d as a long hole 4a and 4b at a position higher than a drain hole 4c of the bottom 2c. In the aimed pot, air from the outside can be introduced into the pot.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報(A) 平4-20216

⑤ Int.Cl.⁵

A 01 G 9/02

識別記号

A

庁内整理番号

7110-2B

⑬ 公開 平成4年(1992)1月23日

審査請求 未請求 請求項の数 8 (全8頁)

⑭ 発明の名称 吊下げ用植木鉢

⑮ 特 願 平2-124540

⑯ 出 願 平2(1990)5月15日

⑰ 発 明 者 河 崎 澄 子 静岡県浜松市葵東2丁目3番16-213号

⑱ 出 願 人 河 崎 澄 子 静岡県浜松市葵東2丁目3番16-213号

明 細 書

1. 発明の名称

吊下げ用植木鉢

2. 特許請求の範囲

1. 植木鉢の中心軸上に吊下げ部を設け、この吊下げ部に吊下げひもを係止して吊下げ可能としたことを特徴とする吊下げ用植木鉢。

2. 植木鉢の底部の中心部を上方へ延出し、下方を開口した凹部を形成して中心軸上に吊下げ部を設け、この吊下げ部に吊下げひもを係止して吊下げ可能としたことを特徴とする吊下げ用植木鉢。

3. 植木鉢の底部の中心部を上方へ延出し、下方を開口した凹部を形成して中心軸上に吊下げ部を設け、また前記植木鉢の底部の外方を覆う水受皿の底部中心部を上方へ延出し、下方を開口した凹部を形成して中心軸上に吊下げ部を設け、この水受皿の吊下げ部を植木鉢の吊下げ部に挿着して一緒に吊下げひもを係止して吊下げ可能としたことを特徴とする吊下げ用植木鉢。

4. 前記水受皿にフレキシブルの排水ホースを備え、この排水ホースは吊下げ部を形成する凹部に収納されることを特徴とする請求項3記載の吊下げ用植木鉢。

5. 前記植木鉢を吊下げひもで連結し、上下に複数個の植木鉢を連続して吊下げることを特徴とする請求項第1項ないし第3項記載の吊下げ用植木鉢。

6. 前記植木鉢を吊下げひもで上下に連続して吊下げ、上の植木鉢の排水ホースを下の植木鉢に導入したことを特徴とする請求項5記載の吊下げ用植木鉢。

7. 前記上下の植木鉢は、それぞれの吊下げひもを連結子を介して連結し、上下に複数個を連続して吊下げることを特徴とする請求項5又は6項記載の吊下げ用植木鉢。

8. 前記上下の植木鉢は、それぞれ個々の荷重が他に力をおよぼすことなく、それと係合する連結子を介して吊下げひもにかかることを特徴とする請求項5ないし7項記載の吊下げ用植木鉢。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は吊下げ用植木鉢に係り、詳しくは、吊下げることが可能な吊下げ用植木鉢に関する。

〔従来の技術〕

植木鉢には、例えば観葉植物等を栽培するため用いられ、上から吊下げるタイプのものがある。このような植木鉢は、通常プラスチック等で形成され、例えば植木鉢の外周の3箇所に設けられたリブ等に吊下げひもを取り付け、3本の吊下げひもで植木鉢を上から吊下げている。

〔発明が解決しようとする課題〕

このような吊下げる植木鉢では、植木鉢の重心を取るために、吊下げひもの長さを一致させなければならず、取扱いが面倒である。

また、複数個の植木鉢を上下に連続して吊下げる場合には、複数の吊下げひもで吊下げるため、その取付けや取外し等の作業が面倒であり、また植木鉢の外周のリブ等を介して吊下げひもを連結するにはリブ等を補強しなければならず、植木鉢

の外観を損なうことになる。

さらに、植木鉢の吊下げひもが、植物を鑑賞する際に邪魔になったりすることがある。

この発明はかかる実状に鑑みてなされたもので、簡単かつ安定で、強度を増しても外観に支障がなく、さらに容易に複数個を上下に連続して吊下げることができ、しかも植物の鑑賞に最適な吊下げ用植木鉢を提供することを目的としている。

〔課題を解決するための手段〕

前記課題を解決するために、請求項1記載の吊下げ用植木鉢の発明は、植木鉢の中心軸上に吊下げ部を設け、この吊下げ部に吊下げひもを係止して吊下げ可能となしたことを特徴としている。

また、請求項2記載の吊下げ用植木鉢の発明は、植木鉢の底部の中心部を上方へ延出し、下方を開口した凹部を形成して中心軸上に吊下げ部を設け、この吊下げ部に吊下げひもを係止して吊下げ可能となしたことを特徴としている。

また、請求項3記載の吊下げ用植木鉢の発明は、植木鉢の底部の中心部を上方へ延出し、下方

3

を開口した凹部を形成して中心軸上に吊下げ部を設け、また前記植木鉢の底部の外方を覆う水受皿の底部中心部を上方へ延出し、下方を開口した凹部を形成して中心軸上に吊下げ部を設け、この水受皿の吊下げ部を植木鉢の吊下げ部に挿着して一緒に吊下げひもを係止して吊下げ可能となしたことを特徴としている。

また、請求項4記載の吊下げ用植木鉢の発明は、前記水受皿にフレキシブルの排水ホースを備え、この排水ホースは吊下げ部を形成する凹部に収納されることを特徴としている。

また、請求項5記載の吊下げ用植木鉢の発明は、前記植木鉢を吊下げひもで連結し、複数個の植木鉢を上下に連続して吊下げることができ、吊下げることを特徴としている。

さらに、請求項6記載の吊下げ用植木鉢の発明は、前記植木鉢を吊下げひもで上下に連続して吊下げ、上の植木鉢の排水ホースを下の植木鉢に導入したことを特徴としている。

また、請求項7記載の吊下げ用植木鉢の発明

5

は、前記上下の植木鉢は、それぞれの吊下げひもを連結子を介して連結し、上下に複数個を連続して吊下げることを特徴としている。

さらに、請求項8記載の吊下げ用植木鉢の発明は、前記上下の植木鉢は、それぞれ個々の荷重が他に力をおよぼすことなく、それと係合する連結子を介して吊下げひもにかかることを特徴としている。

〔作用〕

請求項1記載の発明では、植木鉢の中心軸上に設けた吊下げ部に、吊下げひもを係止して植木鉢を吊下げる。このため、1本の吊下げひもで植木鉢を安定して吊下げることができ、植木鉢の取扱いが容易であると共に、吊下げひもが植木の觀賞の邪魔になることがない。

また、請求項2記載の発明では、植木鉢の底部の中心部を上方へ延出し、下方を開口した凹部を形成して吊下げ部を設けることで、植木鉢の中心軸上に吊下げ部を容易に形成することができる。

また、請求項3記載の発明では、植木鉢に水受

6

皿を備え、この水受皿の吊下げ部を植木鉢の吊下げ部に挿着して一緒に吊下げひもを係止して吊下げるので、水受皿を備える植木鉢が簡単に吊下られる。

また、請求項4記載の発明では、水受皿にフレキシブルの排水ホースを備えており、この排水ホースは吊下げ部を形成する凹部に収納され、排水ホースの収納が容易である。

また、請求項5記載の発明では、複数個の植木鉢を吊下げひもで連結し、上下に連続して吊下げられ、取扱が容易であると共に、吊下げひもで外観が損なわれることがない。

さらに、請求項6記載の発明では、植木鉢を上下に連続して吊下げ、上の植木鉢の排水ホースを下の植木鉢に導入しており、植木鉢の排水が容易で、しかも上の植木鉢に供給された余分な水が下の植木鉢に給水され、水を有効に利用することができる。

また、請求項7記載の発明では、複数個の植木鉢は、それぞれの吊下げひもを連結子を介して連

7

植木鉢2は略碗状に形成され、その上部開口部2aの周囲は外方へ折曲げて飾り部2bが形成され、この飾り部2bで植木鉢2に美観をもたせると共に、運搬等のとき手でもつことができるようになっている。

植木鉢2の底部2cの中心部は上方へ延出され、上部開口部2aより上方位置にあり、これで下方を開口した凹部2dを形成して中心軸上に吊下げ部2eが設けられる。この吊下げ部2eを形成する凹部2d及び底部2cには水抜き孔4が複数形成されている。凹部2dは底部2cよりも傾斜が急であって、凹部2dの水抜き孔4は4a、4bのごとく縦に長い孔となり、底部2cの水抜き孔4cよりも高い位置にある。このため、水抜き孔4は外部からの空気を植木鉢2の内部に充分導入することができ植物の栽培上有利であり、しかも水抜き孔4が外見に現れるのは4cだけであって、その高さも低く外観を損なうことがない。

また、底部2cは内側に向って低くなるように傾斜しており、外側に向って低くなる凹部2dと

9

結し、上下に複数個を連続して吊下げるので、取扱が容易である。

さらに、請求項8記載の発明では、複数個の植木鉢を上下に連続して吊下げ、それぞれ個々の植木鉢の荷重は他に力をおよぼすことなく、それと係合する連結子を介して吊下げひもにかかるので、植木鉢の外観を損なうことなく、強度を上げることができる。

[実施例]

次に、添付図面と共に、この発明の実施例を詳細に説明する。

第1図はこの発明の一実施例を示す吊下げ用植木鉢の側面図、第2図は第1図のII-II断面図、第3図は吊下げ用植木鉢の平面図、第4図は吊下げ用植木鉢の底面図、第5図は連結子の平面図、第6図は連結子の側面図、第7図は第5図のVII-VII断面図である。

図中符号1は吊下げ用植木鉢で、植木鉢2と水受皿3とで構成され、これらはいずれも樹脂で形成されている。

8

の境界に谷底2fを形成する。このため、水抜き孔4から植木鉢2の外に出た水は谷底2fの外壁から滴下する。谷底2fには円周をほぼ3等分する位置に、谷底2fよりさらに下方へ延出した突起2gが設けられている。これによって、植木鉢2を吊下げることなく単体で台の上において用いる場合、突起2gが脚となって谷底2fを台から浮上らせるので、水抜き孔4から排出した水は容易に外へ流れ出し、また、新鮮な空気を凹部2dの内部空間に導入することができる。

植木鉢2の底部を覆うように備えられた水受皿3は、その開口部3aは植木鉢2の底部2cに接続するように形成されていて、谷底2fよりも外に張出している。これによって谷底2fから滴下した水は、確実に開口部3aに捕捉される。水受皿3はその底部3bの中心部が上方へ開口部3aより上方位置まで延出し、下方を開口した凹部3cを形成して中心軸上に吊下げ部3dが設けられる。

水受皿3の吊下げ部3dを形成する凹部3cの

10

下部には排水管 5 が設けられ、この排水管 5 の排水口 5 a は水受皿 3 の内側に位置しており、排水口 5 b は凹部 3 c で形成される中空下方へ向っている。排水管 5 にはフレキシブルな排水ホース 6 が挿着され、排水ホース 6 は屈曲して水受皿 3 の凹部 3 c に収納され、その先端部 6 a は植木鉢 2 の上方位置まで延びている。排水ホース 6 は通常屈曲して水受皿 3 の凹部 3 c に収納され、水受皿 3 にたまった水を排出するとき、排水ホース 6 を凹部 3 c から取出すようになっている。

水受皿 3 の吊下げ部 3 d は植木鉢 2 の吊下げ部 2 e に挿着され、水受皿 3 の吊下げ部 3 d には連結子 7 が係合されている。この植木鉢 2 の吊下げ部 2 e の下面と、水受皿 3 の吊下げ部 3 d の上面及び下面と、連結子 7 の上面とは、いずれも同じ半径の上方に凸の球面に形成されており、相互に回転及び摺動が可能であり、取付けが少し片寄っていても植木鉢 2 の重心が容易に取れるようになっている。さらに、水受皿 3 を使用しない場合にも、植木鉢 2 の吊下げ部 2 e の下面と連結子 7 の

1 1

上段及び中段の 2 個の植木鉢 2 には水受皿が備えられておらず、下段は前記実施例と同様に構成された植木鉢 2 と水受皿 3 とからなる。

3 本の吊下げひも 8 a、8 b、8 c をそれぞれ別の連結子 7 に係止する。

この吊下げひも 8 c の連結子 7 には前記実施例と同様に構成された植木鉢 2 及び水受皿 3 が連結子 7 を介して吊下げひも 8 c で吊下げられ、下段を構成する。この吊下げひも 8 c の中央部を、吊下げひも 8 b が係止する連結子 7 の連通ガイド 7 b とひもガイド 7 a、7 a に係止し、この連結子 7 を他の植木鉢 2 の吊下げ部 2 e に係合することによって、中段を構成する。上段もこの中段と同様に、吊下げひも 8 b の中央部を吊下げひも 8 a の連結子 7 に係止し、この連結子 7 をさらに他の植木鉢 2 の吊下げ部 2 e に係合することによって上段を構成する。

この実施例の場合、上段の植木鉢 2 に水を供給すると、水抜け孔 4 から水が中段の植木鉢 2 に落下し、さらに中段の植木鉢 2 の水抜け孔 4 から出

1 3

上面とは同じ半径の上方に凸の球面に形成されており、支障なく係合できる。

この連結子 7 の側部の対称位置にはひもガイド 7 a、7 a が形成され、連結子 7 の上部にはひもガイド 7 a、7 a を連通する連通ガイド 7 b が軸芯から偏心して形成され、また中央部には取付孔 7 c が連通ガイド 7 b の一部に接続する位置に形成されている。

連結子 7 に吊下げひも 8 を挿通して係止し、この吊下げひも 8 によって植木鉢 2 及び水受皿 3 が吊下げられ、この植木鉢 2 及び水受皿 3 の吊下げ部 2 e、3 d の位置は重心位置より上方にあり、吊下げ用植木鉢は安定している。

また、連結子 7 のひもガイド 7 a は植木鉢 2 の下方に他の植木鉢を吊下げる場合に用いられ、この場合には下方の植木鉢の重量で吊下げひもが、上方の植木鉢の吊下げひもを押圧する。

第 8 図は植木鉢を複数吊下げた吊下げ用植木鉢の他の実施例を示す断面図である。

この実施例では植木鉢 2 を 3 個吊下げており、

1 2

た水は、下段の植木鉢 2 に落下する。下段の植木鉢 2 から出た水は水受皿 3 にたまり、下方へ落下することがない。

この実施例の場合、中段と下段を切離すには、次の手順による。中段の植木鉢 2 を吊下げひも 8 b に、そして上方へスライドし、吊下げひも 8 b と 8 c を連結している連結子 7 を凹部 2 d よりも下方に取出し、この連結子 7 から吊下げひも 8 c をはずして後、中段の植木鉢 2 を連結子 7 が係合する位置まで下げる。段数を増す場合には、これと逆の手順によればよく、複数の植木鉢 2 を上下に連結して吊下げるのに都合が良い。

この実施例で説明したごとく、個々の植木鉢 2 の荷重は、それと係合する連結子 7 を介してそれより上の吊下げひも 8 にかかるだけであって、植木鉢 2 に他の植木鉢 2 の吊下げ力がかかることはなく、多数の植木鉢 2 を上下多段に連続しても、植木鉢 2 を補強する必要がないので、植木鉢の肉厚を薄くできるので美観を損なうことがない。

第 9 図は植木鉢を複数吊下げた吊下げ用植木鉢

1 4

他の実施例を示す断面図である。

この実施例では、上下の植木鉢2にはそれぞれ水受皿3が備えられている。上方の植木鉢2及び水受皿3は吊下げ部2e、3dで連結子7を介して吊下げひも8aで吊下げられ、この連結子7には前記実施例と同様に構成された植木鉢2及び水受皿3が連結子7を介して吊下げひも8bで吊下げられる。

上方の水受皿3の排水ホース6は凹部3cから取出して、吊下げひも8bに沿って、下方の植木鉢2の上部開口部2a内に向かって伸ばしている。このため、上方の植木鉢2に水を供給すると、植木鉢2の水抜け孔4から出た水は水受皿3に受け止められ、排水管5を通して排水ホース6から下方の植木鉢2に供給される。この実施例の排水管5の吸水口5aは水受皿3の内側底部に位置しており、サイホンの作用で水を或る程度ためてから吸出すように、いわゆる間欠給水になっている。下方の植木鉢2では、余剰の水は水受皿3にたまり、下方へ落下することがなく、排水ホース6を

1 5

また、請求項4記載の発明では、水受皿にフレキシブルの排水ホースを備え、この排水ホースは吊下げ部を形成する凹部に収納するから、排水ホースの収納が容易で、必要時に簡単に取出して排水することができる。

また、請求項5記載の発明では、複数の植木鉢が吊下げひもで連結され、上下に複数連続して吊下げるから、取扱が容易であると共に、吊下げひもで外観が損なわれることがない。

さらに、請求項6記載の発明では、植木鉢を上下に連続して吊下げ、上の植木鉢の排水ホースを下の植木鉢に導入したから、植木鉢の排水が容易で、しかも上の植木鉢に供給された余分な水が下の植木鉢に供給され、水を有効に利用することができる。

また、請求項7記載の発明では、複数の植木鉢は、それぞれの吊下げひもを連結子を介して連結し、上下に複数個を連続して吊下げたから、植木鉢を多数上下に連続して吊下げることができ、しかも着脱が容易である。

1 7

凹部3cから取出すことで排水される。

このように、第8図及び第9図に示す実施例では、植木鉢2を上下に複数連続させることができるので都合がよく、また吊下げ用植木鉢の新しい美観を創造することができる。

〔発明の効果〕

前記のように、請求項1記載の発明は、植木鉢の中心軸上に設けた吊下げ部に、吊下げひもを係止して吊下げるから、1本の吊下げひもで安定して吊下げ可能で、取扱が容易であると共に、吊下げひもが植木鉢の観賞の邪魔になることがない。

また、請求項2記載の発明では、植木鉢の底部の中心部を上方へ延出し、下方を開口した凹部を形成して吊下げ部を設けたから、植木鉢の中心軸上に吊下げ部を容易に形成することができる。

また、請求項3記載の発明では、植木鉢に水受皿を備え、この水受皿の吊下げ部を植木鉢の吊下げ部に挿着して一緒に吊下げひもを係止して吊下げるから、水受皿を備える植木鉢が簡単に吊下げられる。

1 6

さらに、請求項8記載の発明では、複数の植木鉢を上下に連続して吊下げ、それぞれ個々の植木鉢の荷重は他に力をおよぼすことなく、それと係合する連結子を介して吊下げひもにかかるので、植木鉢には吊下げ力が作用しないから、複数の植木鉢を多数上下に連続して吊下げることができ、しかも植木鉢の肉厚を薄くすることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例を示す植木鉢の側面図

第2図は第1図のII-II断面図

第3図は植木鉢の平面図

第4図は植木鉢の底面図

第5図は連結子の平面図

第6図は連結子の側面図

第7図は第5図のVII-VII断面図

第8図は植木鉢を複数吊下げた吊下げ用植木鉢の他の実施例を示す断面図

第9図は植木鉢を複数吊下げた吊下げ用植木鉢

1 8

のさらに他の実施例を示す断面図である。

図面中符号 1・・・吊下げ用植木鉢

2・・・植木鉢

3・・・水受皿

4・・・水抜き孔

5・・・排水管

6・・・排水ホース

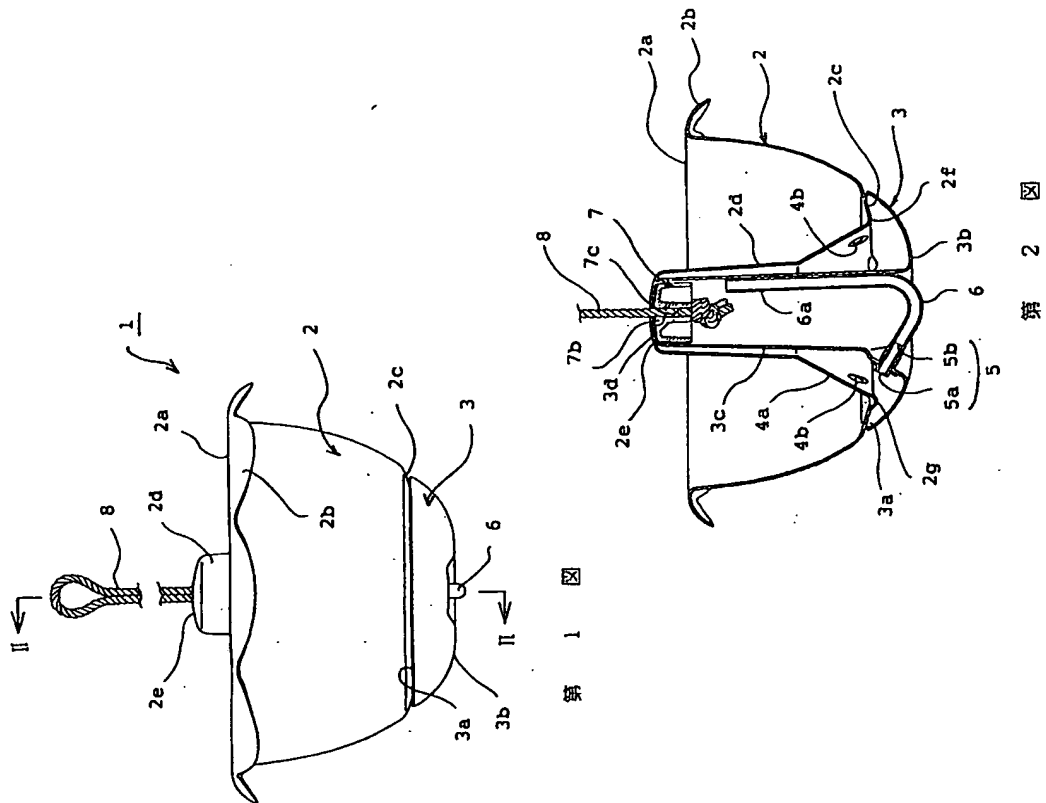
7・・・連結子

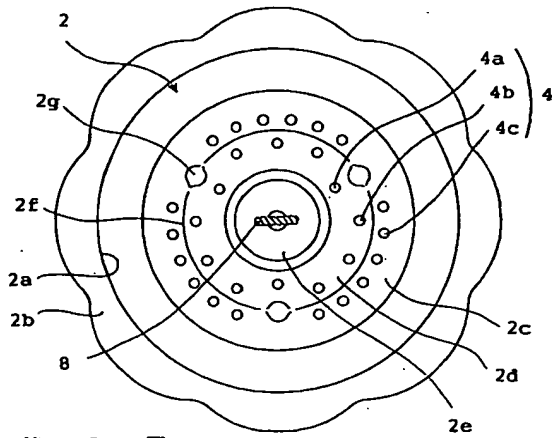
8・・・吊下げひも

である。

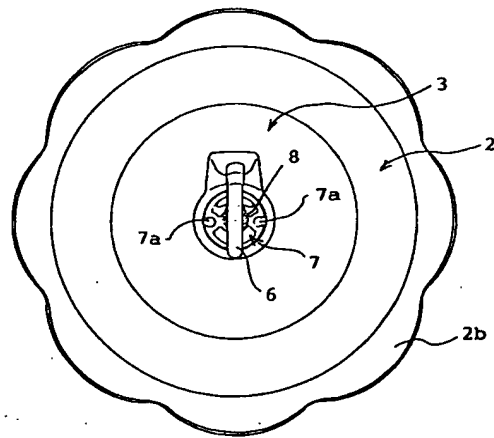
特 許 出 願 人 河 崎 澄 子

19

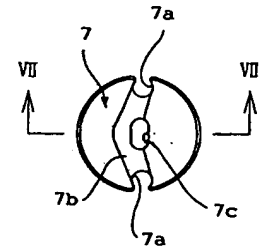




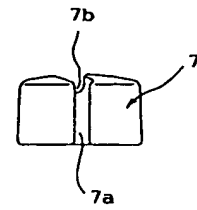
第 3 図



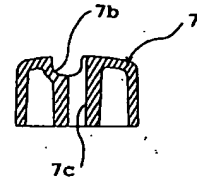
第 4 図



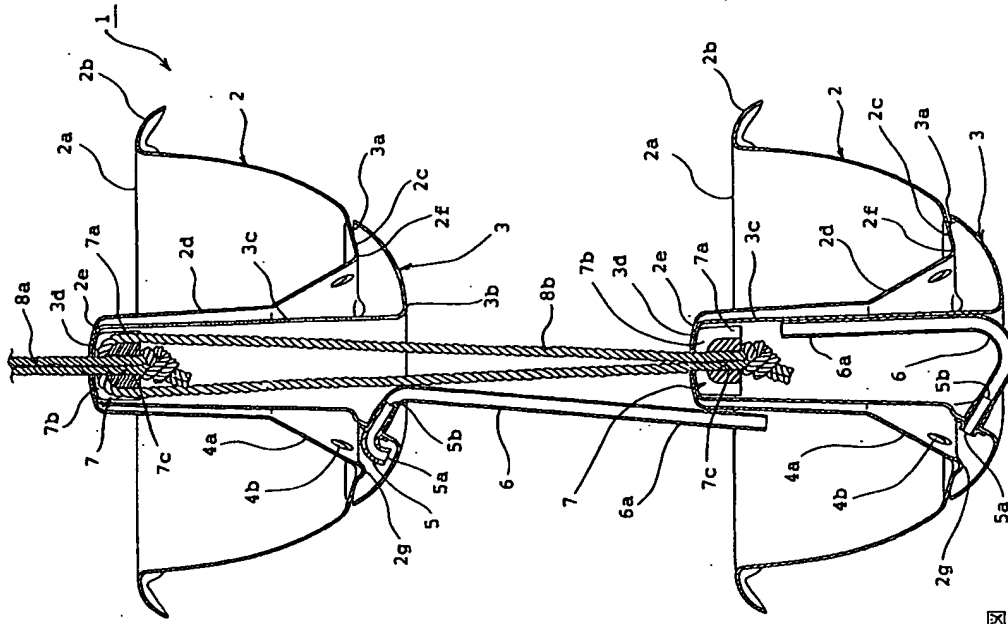
第 5 図



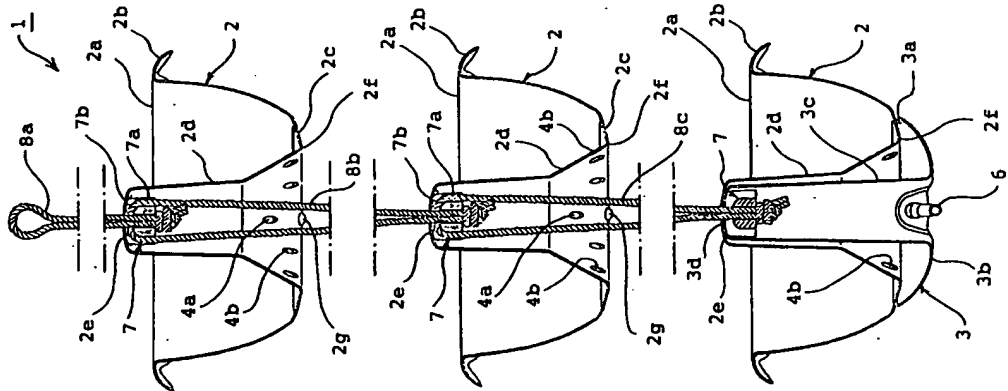
第 6 図



第 7 図



第 9 図



第 8 図